

# “宗教的なもの”にひかれる日本人

～ISSP国際比較調査(宗教)から～

世論調査部(社会調査) 西 久美子

## はじめに

NHK放送文化研究所が参加している国際比較調査グループ、ISSP(International Social Survey Programme)<sup>1)</sup>では今年度、「ISSP国際比較調査(宗教)」を行った。この調査は、人々の宗教に対する考えや、宗教的な行動の実態などを探ることを目的としており、このテーマで調査を実施するのは1998年に続いて2回目である。大部分の質問は前回と同じで、10年前との時系列比較が可能となっている。

本稿では、去年11月に行った日本の調査結果の概要を報告する。

なお、各国の調査データが出揃い国際比較が可能になるのは数年後になる見通しである。調査の概要は次の通りである。

### ▼ISSP国際比較調査(宗教)2008

調査時期：2008年11月22日～30日

調査方法：配付回収法

調査対象：全国16歳以上の国民1,800人  
(住民基本台帳から層化無作為2段抽出)

調査有効数(率)：1,200人(66.7%)

### ▼ISSP国際比較調査(宗教)1998

調査時期：1998年11月12日～18日

調査方法：配付回収法

調査対象：全国16歳以上の国民1,800人  
(住民基本台帳から層化無作為2段抽出)

調査有効数(率)：1,368人(76.0%)

## 1. 宗教への信仰

### 宗教を信仰する人は39%

はじめに、宗教への信仰について見ていきたい。

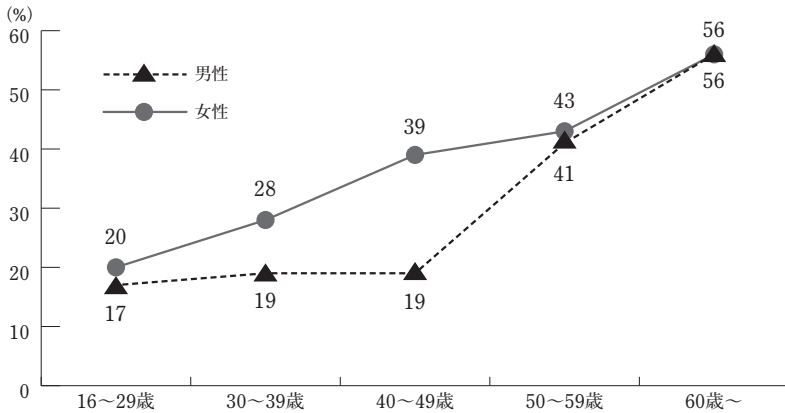
「あなた自身は、何か宗教を信仰していますか」という質問に、「仏教」や「神道」などの宗教を答えた「宗教を信仰している」人の割合は、全体の39%を占めた。信仰している宗教の内訳は、仏教が34%、神道が3%、キリスト教が1%、その他の宗教が1%という結果で、仏教が圧倒的に多い。一方、「宗教を信仰していない」人は49%で、「宗教を信仰する人」を上回っている。

図1は、「宗教を信仰している」人の割合を性年層別に示したものである。

男性は、16歳～29歳から40～49歳までは宗教を信仰する人の割合は2割以下と低い。50～59歳になると4割にまで増え、60歳以上になると半数以上を占めるようになる。

一方女性は、男性に比べるとグラフの傾きが

図1 「宗教を信仰している」人



なだらかで、年齢が高くなるにつれて、宗教を信仰する人の割合も徐々に増えていく。30～39歳と40～49歳では、男性より女性のほうが宗教を信仰する人の割合が高くなっている。中でも40～49歳では、男性の19%に対して、女性は39%と約2倍の開きがある。

この結果について1998年と比較すると、男性はすべての年層でほとんど変化は見られなかった。一方、女性は、16～29歳が10%から20%に、30～39歳が17%から28%にそれぞれ増加した。この10年間で、若い女性の間で、宗教を信仰する人が増えていることがわかる。

宗教別に見ると、仏教が1998年の30%から34%に増加した。仏教以外では変化は見られなかった。

### 仏教への“親しみ”は大きく増す

次に、自分の信仰の有無とは別に、宗教に対して「親しみ」を感じるかどうかを尋ねた結果を見ていく。今回の調査では、仏教・神道・キリスト教・イスラム教、その他の宗教について、親しみを感じるものすべてを挙げても

らった。どの宗教にも親しみを感じないという人には、「親しみを感じる宗教はない」という選択肢を選んでもらった。

親しみを感じると答えた人が最も多かったのは「仏教」の65%である。「神道」は21%、「キリスト教」は13%、「その他の宗教」では1%の人が親しみを感じ

ており、「イスラム教」については0%であった<sup>2)</sup>。また、「親しみを感じる宗教はない」という人は29%を占めた(図2)。

1998年と比較すると、親しみを感じる割合は、仏教は49%から65%に、神道は15%から21%にそれぞれ増加している。キリスト教とイスラム教、その他の宗教では変化は見られなかった。仏教や神道に親しみを感じる人が増える一方で、「親しみを感じる宗教はない」人の割合は、1998年の40%から29%に減少した。

信仰の有無と、宗教への親しみとの関連を

図2 親しみを感じる宗教

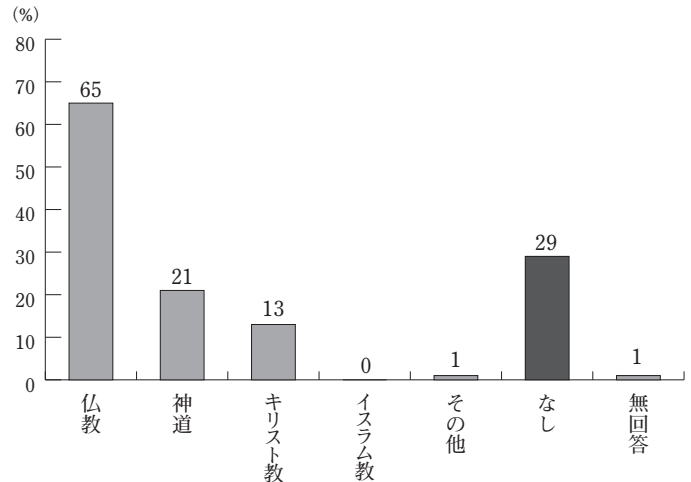
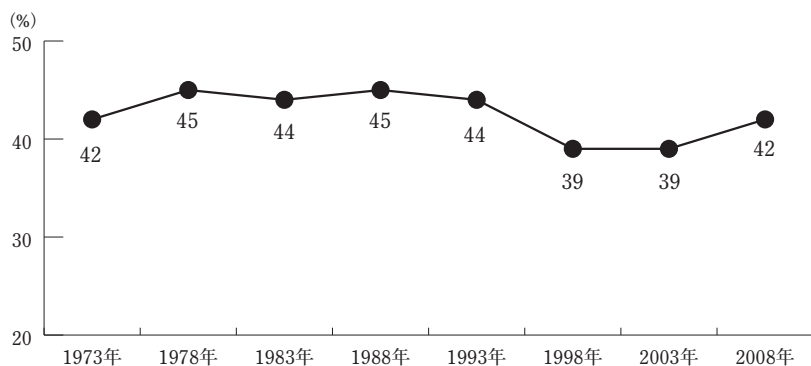


図3 「仏」を信じる人



見ると、仏教を信仰している人の92%が、仏教に対して親しみを感じていた。一方、「宗教を信仰していない」という人でも、仏教は50%、神道は18%の人が親しみを感じていることがわかった。

次に挙げる図3は、NHK放送文化研究所が5年ごとに行っている『日本人の意識』調査から、「宗教とか信仰とかに関係すると思われることがら」のうち、「仏」を信じていると答えた人の割合を示したものである<sup>3)</sup>。

グラフを見ると、1970年代後半以降、「仏」を信じる人の割合は4割以上を占めていたが、1998年になると39%に減少した。2003年では変化は見られなかったが、最新の調査である2008年では、42%に再び増えている。

この1998年の減少について、『現代日本人の意識構造(第五版)』では、「(1995年の)オウム真理教事件によってもたらされた一種の宗教アレルギーの可能性が強い」と分析されている。

ISSP調査の実施時期は、「日本人の意識」調査で「仏」を信じる人が減少した時期(=1998年)と、再び増加した時期(=2008年)にあたり、回答傾向も似ている。ISSPは国際比較を目的としているため、個別の宗教団体と人々の

信仰心との関わりを直接尋ねてはいないが、「日本人の意識」調査と同様に、前回のISSP調査ではオウム真理教事件の影響が少なからずあったものと想像される。

今回の調査で、仏教への信仰や親しみが増したという変化は、かつての宗教アレルギーが少しずつ

薄らいできたことも背景にあると思われる。

### 宗教がもたらすもの

宗教がもたらす役割や効果について、4つの側面から尋ねた結果が次ページの図4である。

評価が高かったのは、「心の安らぎや幸福感が得られる」と「困難や悲しみを癒す」の2つで、「そう思う」(「どちらかといえば」を含む)人の割合が、それぞれ50%と45%を占めて最も多くなっている。宗教を信じることによって、毎日心穏やかに過ごしたり、心の傷が癒されたりすると考える人は比較的多いことがわかる。一方、「友人をつくる」と「良識を持った人と知り合う」については、「そうは思わない」(「どちらかといえば」を含む)という人が3割程度を占めて、「そう思う」や「どちらともいえない」を上回った。宗教への信仰を通して、人間関係が広がると考える人は少ない。

「心の安らぎや幸福感が得られる」と「困難や悲しみを癒す」について、信仰する宗教の有無との関係を整理したものが表1である。

「心の安らぎや幸福感」については、「宗教を信仰している」人の66%、「宗教を信仰していない」人の42%が「そう思う」と答えており、「そ

図4 宗教の効果

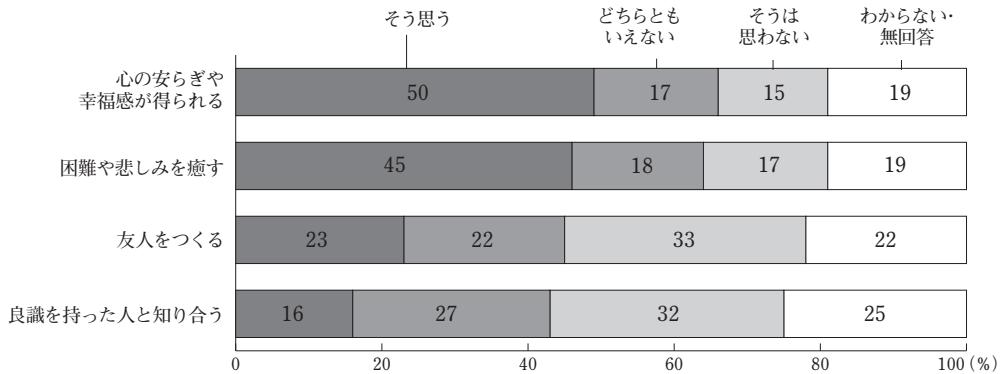


表1 「信仰の有無」と「宗教の効果」

		宗教への信仰			
		全体	あり	なし	わからない・無回答
		1,200人	463	593	144
心の安らぎや幸福感が得られる	そう思う	50 (%)	66	42	34
	どちらともいえない	17	16	16	17
	そうは思わない	15	7	21	11
	わからない、無回答	19	10	21	38
困難や悲しみを癒す	そう思う	45	58	39	27
	どちらともいえない	18	17	19	20
	そうは思わない	17	12	23	12
	わからない、無回答	19	13	19	41

うは思わない」や「どちらともいえない」を上回っている。

同様に、「困難や悲しみを癒す」についても、「宗教を信仰している」人の58%、「宗教を信仰していない」人の39%が「そう思う」と答えて最も多い。信仰を持つ人のほうが、持たない人よりも宗教に対する評価が高いのは当然のこととしても、宗教を信仰していない人でも、宗教の存在や意義を否定するのではなく、宗教の効果については、ある程度の評価をしていることがうかがえる。

## 2. 宗教的な行動

### 仏壇や神棚を拝む頻度

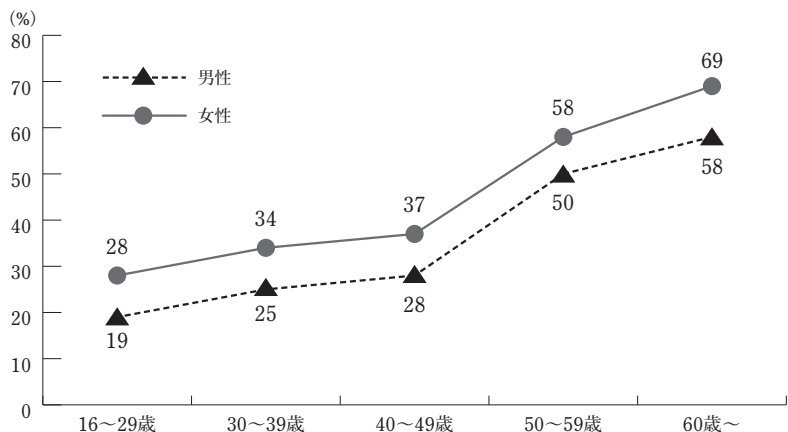
次に、さまざまな宗教的な行動について尋ねた結果を紹介する。家庭における宗教的行動の1つとして、仏壇と神棚の拝む頻度を尋ねた。具体的には、仏壇と神棚のそれぞれについて、「毎日拝む」「ときどき拝む」「拝むこともある」「まったく拝まない」

「仏壇（神棚）がない」という5つの選択肢の中から選んでもらった。

仏壇については、「毎日」または「ときどき」拝む人がいずれも23%で、「拝むこともある」人は21%だった。「まったく拝まない」人も5%いた。

神棚については、「拝むことがある」という人が25%で最も多く、「ときどき」は14%、「毎日」は11%である。「まったく拝まない」は10%だった。神棚は、仏壇に比べて拝む人の割合が低く、拝む頻度も多くはない。この傾向は、

図5 仏壇を「毎日」+「ときどき」拜む



1998年と変わらなかった。

図5は、仏壇を「毎日」または「ときどき」拜んでいる人の割合を性年層別に示したものである。どの年層でも、ふだんから仏壇を拜んでいるのは、男性よりも女性が多くなっているが、16~29歳から40~49歳までは男女とも4割以下である。50~59歳以降になると、男女とも半数程度かそれ以上に増える。年齢と比例して、拜む人の割合も増えていくのは、「宗教を信仰する人」(図1)の変化と同じ傾向である。

### 多くの人がある「墓参り」「初もうで」

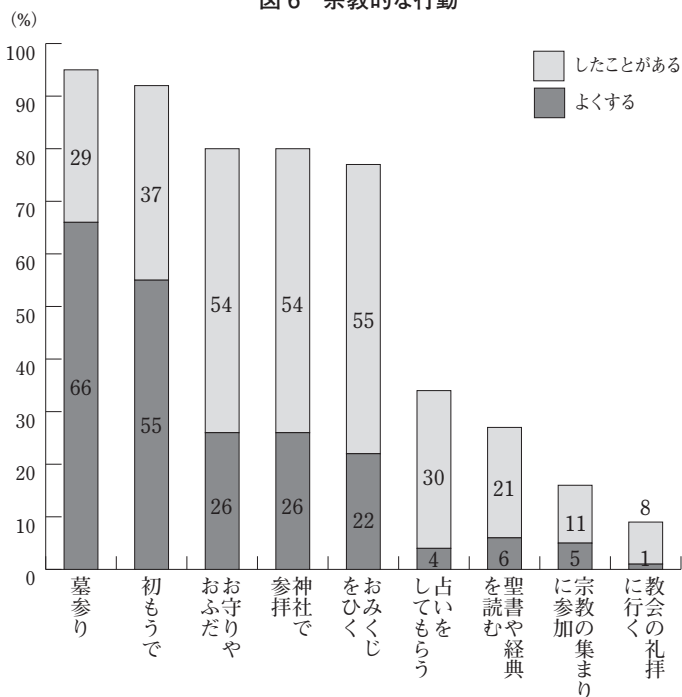
仏壇や神棚を拜む以外の、主な9つの宗教的な行動について、「よくする」「したことがある」または「しない」の3段階で回答してもらった。図6は、「よくする」と「したことがある」人の割合を示したものである。

多くの人がある「よくする」宗教的な行動は、「墓参り」と「初もうで」で、「墓参り」は66%、「初もうで」は55%を占めた。これに「したことがある」人を加えると「墓参り」は95%、「初もうで」は92%となる。「墓参り」や「初もうで」は、もともとは信仰にもとづいた行動や行事ではあるが、宗教を信仰していない人にも、広く浸透しているといえるだろう。

「墓参り」や「初もうで」に続いて、している人が多いのは、「お守りやおふだをもらう」「神社で参拝をする」「おみくじをひく」である。3つとも「よくする」と「したことがある」を合わせると8割程度を占めるが、「よくする」よりも頻度が低い「したことがある」人のほうが多くなっている。

一方、「聖書や経典を読む」「宗教の集まりに参加する」「教会の礼拝に行く」については、「よくする」と「したことがある」を合わせても、

図6 宗教的な行動



3割以下となっている。どちらかという  
と信仰をより深めるための行動に  
ついては、している人の割合は低く  
なっている。

### 困ったときには神仏頼み

ここまで見てきたように、日本人  
で、特定の宗教を信仰したり、仏壇  
や神棚をふだんから拝んだりする人  
は、決して多くない。

それでは、人々にとって神や仏はどのような  
存在なのだろうか。

「神でも仏でも、心のよりどころになるもの  
がほしい」かどうかを尋ねた質問では、「そう  
思う」は31%、「そうは思わない」が33%、「ど  
ちらともいえない」が36%で、回答は分かれ  
た。「そう思う」人の割合(31%)は、1998年  
の36%から減少した。

その一方で、「自分が何か非常に困った問  
題にぶつかったとき、神や仏に祈ったことは  
あるか」という別の質問では、「祈ったことが  
ある」という人が63%を占めて、  
「祈ったことがない」の37%を大き  
く上回った。

この質問と、信仰する宗教の有  
無との関連を見ると、「宗教を信  
仰している」人のうち、困ったとき  
に「祈ったことがある」人は77%、  
「祈ったことがない」は23%だっ  
た。一方、「宗教を信仰していない」  
人でも、「祈ったことがある」人  
は54%で、「祈ったことがない」の  
46%を上回っていた(表2)。

“苦しいときの神頼み”のことわ  
ざの如く、ふだんは宗教を信仰し

表2 「信仰の有無」と「困ったときの神頼み」

		宗教への信仰			
		全体	あり	なし	わからない・ 無回答
		1,200人	463	593	144
神仏に祈った経験	ある	63 (%)	77	54	55
	ない	37	23	46	44
	無回答	0	0	0	1

ていなくても、自分が窮地に陥ったときには、  
思わず神や仏に手を合わせたという経験のあ  
る人は案外多いようだ。

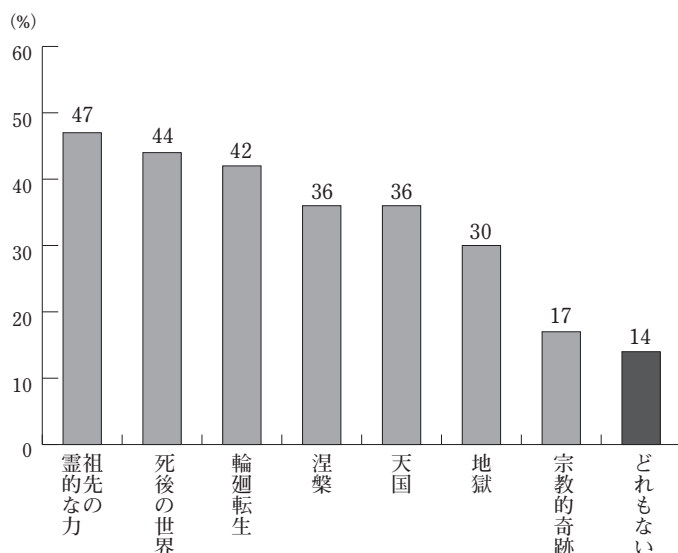
## 3. 宗教的なもの

### “目に見えないもの”を信じるか

最後に、“目には見えないが、宗教上は存在  
すると考えられているもの”(以下は、“宗教的な  
もの”と表記)について、人々がどう考えている  
のかについて見ていく。

調査では、「祖先の霊的な力」「死後の世界」

図7 宗教的なもの「絶対に」+「たぶん」ある



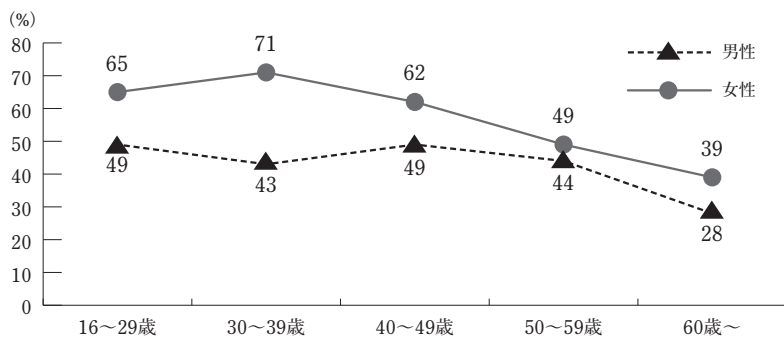
「輪廻転生 (=生まれ変わり)」「涅槃(ねはん =悟りの境地)」「天国」「地獄」「宗教的な奇跡」の7つの“宗教的なもの”について、「絶対にある」「たぶんあると思う」「たぶんないと思う」「決してない」の4段階で答えてもらった。

図7に、「ある」(「絶対に」+「たぶん)と答えた人の割合を示した。「ある」という人が最も多かったのは、「祖先の霊的な力」の47%で、ほぼ半数となっている。「死後の世界」は44%、「輪廻転生」は42%の人が「ある」と考えている。また、「涅槃」「天国」「地獄」についても、3割程度の人が「ある」と答えた。すべての項目について「ない」と答えた人はわずか14%で、ほとんどの人は、こうした“宗教的なもの”の存在を少なくとも1つは「ある」と考えていることがわかる。

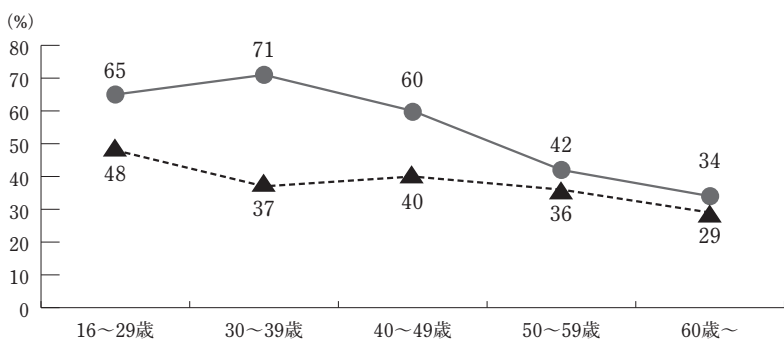
7つの項目のうち、「輪廻転生」「涅槃」「祖先の霊的な力」については、今回の調査から新たに加わったものである。1998年との時系列比較が可能な、「死後の世界」「天国」「地獄」「宗教的な奇跡」の4つについて見ると、「死後の世界」は37%から44%に、「天国」

は31%から36%に、「地獄」は26%から30%に、いずれも「ある」と答えた人の割合が増加した。「宗教的な奇跡」では変化が見られなかった。“宗教的なもの”を信じる人は、10年前に

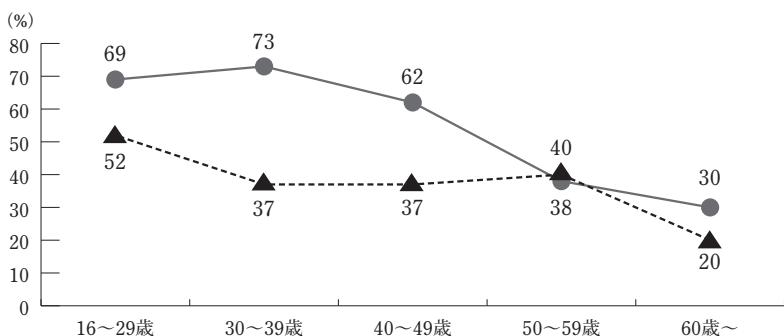
図8 「祖先の霊的な力」ある



「死後の世界」ある



「輪廻転生」ある



比べてやや増えている。

図8は、「ある」という人が比較的多かった3つについて、性年層別に示したものである。「祖先の霊的な力」「死後の世界」「輪廻転生」のいずれも、若い年代の人ほど「ある」と考える人が多く、年齢が高くなるほど少なくなっており、年代によって意識の違いが見られた。また、16～29歳、30～39歳、40～49歳では、男性より女性のほうが「ある」という人の割合が高い。とくに30～39歳では、女性が7割以上を占めるのに対して、男性は4割前後となっている。

図8と、先に紹介した図1（「宗教を信仰している」人）や図5（仏壇を「毎日」＋「ときどき」拜む）とを比較すると、グラフは逆の傾きとなっている。

今回の調査結果からは、若い人の多くは、宗教を信仰しているわけではないのに、「霊魂」や「あの世」などの“宗教的なもの”の存在は信じている、一方、高齢者は、信仰を持ち、ふだんから仏壇を拜んではいるが、“宗教的なもの”の存在はあまり信じていない、という傾向が見られた。信仰があれば、“宗教的なもの”を信じるというわけではないようである。

宗教学が専門の島蘭進東京大学教授は、日本人と宗教との関わりについて、「『無宗教』といわれることの多い日本人だが、実は広い意味での『宗教的なもの』やスピリチュアリティに通じるような感受性や考え方を心に包み込んでいる」と述べている<sup>4)</sup>。

特定の宗教を信仰しているわけではなくても、目に見えないものの力を信じたり、心のよりどころにしたりする人は、かなり多いのかもしれない。

## おわりに

今回の調査からは、日本人の宗教に関する意識や行動について、▼宗教を信仰している人は4割程度だが、仏教への親しみは10年前より増加した、▼墓参りや初もうでは9割以上の人が行っている宗教的行事、▼霊魂やあの世といった“宗教的なもの”は、若い人ほど信じている人が多いなどの結果が得られた。

イギリスやドイツをはじめヨーロッパのキリスト教国が大半を占めるISSPメンバーの中では、主な宗教が仏教であり、また、宗教が必ずしも人々の生活に深く関わっていないという点でも、日本はかなり特徴のある宗教的背景を持った国だといえる。今後、各国の調査結果がそろった時点で、改めて分析を行ってみたいと考えている。

(にし くみこ)

### 注：

- 1) ISSPには日本をはじめ、ヨーロッパ諸国を中心に現在44の国と地域が参加している。毎年共通のテーマを決めて、共通の質問をそれぞれの母国語に翻訳して調査・分析を行っている。日本は1993年からNHK（放送文化研究所）がメンバーになっている。ISSPの参加国や過去の調査データなどについては、以下のHPを参照。  
<http://www.gesis.org/en/services/data/survey-data/issp/>
- 2) 「イスラム教」については、実数では5人だったが、有効回答（1,200人）における割合を小数点第1位以下で四捨五入すると、0%となる。
- 3) 「日本人の意識調査」の調査票では、「神、仏、聖書や経典などの教え、あの世・来世、奇跡、お守りやおふだなどの力、易や占い」の7つから、「信じているもの」をいくつでも挙げてもらっている。  
この調査の概要や結果については、『放送研究と調査』2009年4月・5月号（本号）を参照されたい。
- 4) 島蘭進『スピリチュアリティの興隆 新霊性文化とその周辺』（岩波書店、2007）



# ISSP 国際比較調査(宗教) 単純集計結果

## 【調査の概要】

調査時期：2008年11月22日～30日  
 調査方法：配付回収法  
 調査対象：全国16歳以上の国民1,800人  
 (住民基本台帳から層化無作為2段抽出)  
 調査有効数(率)：1,200人(66.7%)

調査時期：1998年11月12日～18日  
 調査方法：配付回収法  
 調査対象：全国16歳以上の国民1,800人  
 (住民基本台帳から層化無作為2段抽出)  
 調査有効数(率)：1,368人(76.0%)

100% = 1,368人 1,200人

### —幸福感—

Q1 あなたの今の生活は、全体として幸せだと思いますか。それとも幸せではないと思いますか。あなたのお気持ちに近い番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. とても幸せである	13.9	15.9%
2. まあ幸せである	71.9	68.3
3. あまり幸せでない	9.6	10.3
4. まったく幸せでない	1.5	1.3
5. わからない、無回答	3.1	4.2

### —結婚前の性的交わり—

Q2 あなたは、「結婚前の男女が性的交わりを持つこと」を間違ったことだと思いますか、それとも間違ったことではないと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 絶対に間違っている	11.1	7.4
2. まあ間違いだと思う	24.9	21.0
3. あまり間違いだとは思わない	45.5	51.3
4. まったく間違っていない	11.8	13.4
5. わからない、無回答	6.7	7.0

### —配偶者以外との性的交わり—

Q3 では、「結婚している人が、配偶者以外の人と性的交わりを持つこと」についてはどうですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 絶対に間違っている	43.8	45.3
2. まあ間違いだと思う	42.1	41.3
3. あまり間違いだとは思わない	7.4	7.6
4. まったく間違っていない	1.5	0.8
5. わからない、無回答	5.3	5.0

### —同性どうしの性的交わり—

Q4 では、「男性どうし、女性どうしで性的交わりを持つこと」についてはどうですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 絶対に間違っている	35.6	27.3
2. まあ間違いだと思う	27.0	24.7
3. あまり間違いだとは思わない	15.9	23.5
4. まったく間違っていない	3.9	5.4
5. わからない、無回答	17.6	19.2

### —妊娠中絶—

Q5 妊娠中絶することについては、どう思いますか。A、Bそれぞれの場合について、1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
A. 生まれてくる子どもが、重い障害をもつ可能性が高い場合		
1. 絶対に間違っている	9.5	10.4
2. まあ間違いだと思う	13.2	14.8
3. あまり間違いだとは思わない	42.0	36.0
4. まったく間違っていない	20.0	15.8
5. わからない、無回答	15.4	23.1
B. 家庭の収入が非常に低く、子どもを育てる余裕がない場合		
1. 絶対に間違っている	18.3	15.7
2. まあ間違いだと思う	27.3	25.5
3. あまり間違いだとは思わない	32.5	29.3
4. まったく間違っていない	8.2	9.8
5. わからない、無回答	13.7	19.8

### —夫婦の役割—

Q6 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

・夫の仕事は収入を得ること、妻の仕事は家庭と家族の面倒をみることだ

	1998年	2008年
1. そう思う	11.1	7.3
2. どちらかといえばそう思う	24.2	23.9
3. どちらともいえない	26.5	25.5
4. どちらかといえばそうは思わない	11.9	12.7
5. そうは思わない	24.6	28.9
6. わからない、無回答	1.7	1.7

### —他人への信頼—

Q7 あなたは、他人と接するときには、相手の人を信頼してよいと思いますか。それとも、用心したほうがよいと思いますか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. いつでも信頼してよい	1.0	0.6
2. たいていは信頼してよい	30.3	34.9
3. たいていは用心したほうがよい	46.5	46.2
4. いつでも用心したほうがよい	13.5	11.2
5. わからない、無回答	8.7	7.2

### —組織や制度への信頼—

Q8 AからEにあげた組織や制度を、あなたはどのくらい信頼していますか。A～Eそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
A. 国会		
1. 非常に信頼している	0.9	0.6
2. かなり信頼している	2.9	3.2
3. まあ信頼している	15.2	20.6
4. あまり信頼していない	49.6	48.3
5. まったく信頼していない	24.4	18.5
6. わからない、無回答	7.0	8.9

B. 企業

	1998年	2008年
1. 非常に信頼している	0.7	0.4
2. かなり信頼している	5.6	4.1
3. まあ信頼している	32.7	43.3
4. あまり信頼していない	43.3	33.0
5. まったく信頼していない	7.2	5.0
6. わからない、無回答	10.5	14.3

C. 宗教団体

	1998年	2008年
1. 非常に信頼している	1.2	0.8
2. かなり信頼している	3.2	4.0
3. まあ信頼している	20.0	28.1
4. あまり信頼していない	42.0	35.0
5. まったく信頼していない	23.5	18.3
6. わからない、無回答	10.0	13.9

D. 裁判所

	1998年	2008年
1. 非常に信頼している	5.8	2.2
2. かなり信頼している	20.5	14.3
3. まあ信頼している	45.2	47.1
4. あまり信頼していない	17.0	19.9
5. まったく信頼していない	3.9	3.6
6. わからない、無回答	7.7	13.0

E. 学校

	1998年	2008年
1. 非常に信頼している	1.7	0.8
2. かなり信頼している	11.3	7.8
3. まあ信頼している	42.4	48.4
4. あまり信頼していない	30.7	28.2
5. まったく信頼していない	6.5	4.8
6. わからない、無回答	7.4	10.0

一暮らしした範囲一

Q 9 あなたは、これまでどのようところで暮らしてきましたか。あなたのご経験に最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

	2008年
1. さまざまな国で暮らしてきた	1.1
2. 日本国内の、複数の地域で暮らしてきた	30.6
3. 同じ地域の中の、複数の市や町で暮らしてきた	24.3
4. ずっと同じ市や町で暮らしてきた	43.7
5. 無回答	0.3

一宗教団体と政治一

Q 10 次のAやBのような考え方について、あなたはどのように思いますか。A、Bそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

A. 宗教団体の指導者は、選挙の投票に影響を与えようとすべきではない

	1998年	2008年
1. そう思う	64.8	55.9
2. どちらかといえば、そう思う	13.5	18.0
3. どちらともいえない	7.8	9.3
4. どちらかといえば、そうは思わない	1.5	1.8
5. そうは思わない	2.3	1.7
6. わからない、無回答	10.2	13.4

B. 宗教団体の指導者は、政府の決定に影響を与えようとすべきではない

	1998年	2008年
1. そう思う	62.9	54.8
2. どちらかといえば、そう思う	14.0	18.3
3. どちらともいえない	7.0	9.4
4. どちらかといえば、そうは思わない	1.6	1.8
5. そうは思わない	2.5	1.5
6. わからない、無回答	12.0	14.3

一科学と宗教一

Q 11 では、次のAからDのような考え方についてはどうですか。A～Dそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. 全体として、科学は人類にとって良いことよりむしろ悪いことをもたらした

	1998年	2008年
1. そう思う	4.3	2.8
2. どちらかといえば、そう思う	9.7	6.4
3. どちらともいえない	41.6	33.3
4. どちらかといえば、そうは思わない	16.6	18.3
5. そうは思わない	18.9	27.4
6. わからない、無回答	8.9	12.0

B. 私たちは科学を信用しすぎていて、宗教への信仰が不足している

	1998年	2008年
1. そう思う	3.7	2.3
2. どちらかといえば、そう思う	8.3	7.8
3. どちらともいえない	28.0	24.1
4. どちらかといえば、そうは思わない	16.2	17.0
5. そうは思わない	32.9	33.5
6. わからない、無回答	10.9	15.3

C. 世界中を見回してみると、宗教は平和よりも争いをもたらすことの方が多い

	1998年	2008年
1. そう思う	24.1	15.9
2. どちらかといえば、そう思う	28.5	27.8
3. どちらともいえない	27.2	24.3
4. どちらかといえば、そうは思わない	5.8	7.8
5. そうは思わない	5.0	9.2
6. わからない、無回答	9.4	15.1

D. 信仰心の強い人々は、そうでない人達に対して不寛容になりがちである

	1998年	2008年
1. そう思う	17.7	11.9
2. どちらかといえば、そう思う	26.3	24.4
3. どちらともいえない	25.4	25.3
4. どちらかといえば、そうは思わない	6.6	6.3
5. そうは思わない	7.5	9.5
6. わからない、無回答	16.4	22.6

一宗教団体の力一

Q 12 宗教団体の日本国内での力は、強すぎますか。それとも弱すぎますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 強すぎる	5.8	5.3
2. どちらかといえば、強すぎる	26.2	20.6
3. ちょうど良い	17.3	23.1

- 4. どちらかといえば、弱すぎる …………… 4.8 5.8
- 5. 弱すぎる …………… 1.6 0.7
- 6. わからない、無回答 …………… 44.3 44.6

—宗教団体と権利—

Q 13 次のAやBのような考え方について、あなたはどのように思いますか。A、Bそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- A. 日本国内の宗教団体はすべて同等の権利を持つべきだ
- 2008年
- 1. そう思う …………… 7.3
  - 2. どちらかといえば、そう思う …………… 9.1
  - 3. どちらともいえない …………… 20.0
  - 4. どちらかといえば、そうは思わない …………… 9.5
  - 5. そうは思わない …………… 25.3
  - 6. わからない、無回答 …………… 28.8

- B. 私たちはあらゆる宗教に敬意を払わなくてはならない
- 2008年
- 1. そう思う …………… 2.6
  - 2. どちらかといえば、そう思う …………… 5.0
  - 3. どちらともいえない …………… 16.3
  - 4. どちらかといえば、そうは思わない …………… 11.5
  - 5. そうは思わない …………… 46.9
  - 6. わからない、無回答 …………… 17.8

—他宗教を受け入れるか—

Q 14 さまざまな宗教を信仰したり、宗教観を持ったりする人がいます。あなたは、信仰する宗教が違ったり、宗教に対する考え方が大きく違ったりする人が、次のA、Bのようなことをすることを受け入れますか。あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- A. あなたの親戚と結婚する
- 2008年
- 1. 当然受け入れる …………… 7.6
  - 2. たぶん受け入れる …………… 35.8
  - 3. たぶん受け入れない …………… 22.2
  - 4. 絶対に受け入れない …………… 7.3
  - 5. わからない、無回答 …………… 27.1

- B. あなたが支持する政党の候補者になる
- 2008年
- 1. 当然受け入れる …………… 5.3
  - 2. たぶん受け入れる …………… 26.2
  - 3. たぶん受け入れない …………… 23.2
  - 4. 絶対に受け入れない …………… 8.8
  - 5. わからない、無回答 …………… 36.5

—過激派の活動—

Q 15 多くの人たちから見ると、極端だとみなされる考え方を持つ人がいます。例えば、自分たちが信じる宗教が唯一正しいもので、他の宗教は自分たちと敵対するものだと信じている人々について考えてください。あなたは、そのような人々が次のようなことをすることは許されると思いますか。A、Bそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

- A. 自分たちの考えを表明するための集会を開く
- 2008年
- 1. 当然許される …………… 12.9
  - 2. たぶん許される …………… 36.5
  - 3. たぶん許されない …………… 17.7

- 4. 絶対に許されない …………… 6.3
- 5. わからない、無回答 …………… 26.7

B. 自分たちの考えを本にして出版する

- 2008年
- 1. 当然受け入れる …………… 15.3
  - 2. たぶん受け入れる …………… 40.5
  - 3. たぶん受け入れない …………… 12.9
  - 4. 絶対に受け入れない …………… 4.5
  - 5. わからない、無回答 …………… 26.8

—神の存在—

Q 16 あなたは、神について、日ごろどのようにお考えですか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- |   |       |       |
|---|-------|-------|
|   | 1998年 | 2008年 |
| 1. 神の存在を信じない ……………                                | 10.5  | 8.7   |
| 2. 神が存在するかどうかわからないし、存在するかどうかを明らかにする方法もないと思う …………… | 20.8  | 19.2  |
| 3. 神がいるとは思わないが、何か超自然的な力はあろうと思う ……………              | 23.8  | 23.2  |
| 4. 神の存在を信じる時もあるし、信じない時もある ……………                   | 31.5  | 32.0  |
| 5. 神の存在に疑問を感じることもあるが、神は存在すると信じている ……………           | 9.1   | 11.9  |
| 6. 私は、実際に神が存在することを知っており、神の存在に何の疑いも持っていない ……………    | 3.9   | 4.3   |
| 7. 無回答 ……………                                      | 0.4   | 0.8   |

—神への信仰心—

Q 17 では、今と以前とではどうでしょうか。あなたのお考えに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- |                                   |       |       |
|-----------------------------------|-------|-------|
|                                   | 1998年 | 2008年 |
| 1. 今も以前も神を信じていたことはない ……………        | 28.7  | 27.2  |
| 2. 今は神を信じていないが、以前信じていたことがある …………… | 7.2   | 6.7   |
| 3. 今は神を信じているが、以前は信じていなかった ……………   | 6.1   | 5.3   |
| 4. 今も以前も神を信じている ……………             | 20.5  | 25.0  |
| 5. わからない、無回答 ……………                | 37.7  | 36.0  |

—宗教的なもの—

Q 18 AからGにあげたことがらはあると思いますか、それともないと思いますか。A～Gそれぞれについて、あなたのお気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

- A. 死後の世界
- |                    |       |       |
|--------------------|-------|-------|
|                    | 1998年 | 2008年 |
| 1. 絶対にある ……………     | 6.7   | 8.3   |
| 2. たぶんあると思う ……………  | 30.3  | 35.3  |
| 3. たぶんないと思う ……………  | 23.2  | 21.8  |
| 4. 決していない ……………    | 11.8  | 8.7   |
| 5. わからない、無回答 …………… | 27.9  | 26.0  |

B. 天国

- |                    |       |       |
|--------------------|-------|-------|
|                    | 1998年 | 2008年 |
| 1. 絶対にある ……………     | 5.2   | 5.6   |
| 2. たぶんあると思う ……………  | 25.8  | 30.1  |
| 3. たぶんないと思う ……………  | 26.0  | 27.5  |
| 4. 決していない ……………    | 13.0  | 9.1   |
| 5. わからない、無回答 …………… | 30.0  | 27.8  |

C. 地獄

	1998年	2008年
1. 絶対にある	4.3	4.9
2. たぶんあると思う	21.1	25.5
3. たぶんないと思う	29.2	30.4
4. 決してない	14.8	10.3
5. わからない, 無回答	30.6	28.8

D. 宗教的奇跡

	1998年	2008年
1. 絶対にある	4.8	2.7
2. たぶんあると思う	14.3	14.8
3. たぶんないと思う	28.0	32.9
4. 決してない	21.6	18.2
5. わからない, 無回答	31.4	31.5

E. 輪廻転生 (生まれ変わり)

	2008年
1. 絶対にある	8.0
2. たぶんあると思う	34.1
3. たぶんないと思う	21.5
4. 決してない	11.1
5. わからない, 無回答	25.4

F. 涅槃 (悟りの境地)

	2008年
1. 絶対にある	5.9
2. たぶんあると思う	30.4
3. たぶんないと思う	19.7
4. 決してない	6.4
5. わからない, 無回答	37.6

G. 祖先の霊的な力

	2008年
1. 絶対にある	8.6
2. たぶんあると思う	38.3
3. たぶんないと思う	20.3
4. 決してない	7.3
5. わからない, 無回答	25.5

—神と運命—

Q 19 次のAからFのような考え方について、あなたはどのように思いますか。A～Fそれぞれについて、あなたの気持ちに一番近い番号に1つだけ○をつけてください。

A. すべての人に神は存在している

	1998年	2008年
1. そう思う	10.2	9.3
2. どちらかといえば、そう思う	11.2	14.7
3. どちらともいえない	24.4	21.0
4. どちらかといえば、そうは思わない	8.7	8.6
5. そうは思わない	23.2	19.2
6. わからない, 無回答	22.3	27.3

B. 人が自分自身の運命を変えることは不可能である

	1998年	2008年
1. そう思う	9.6	6.7
2. どちらかといえば、そう思う	9.4	6.4
3. どちらともいえない	18.9	17.7
4. どちらかといえば、そうは思わない	20.7	18.7
5. そうは思わない	32.1	36.8
6. わからない, 無回答	9.2	13.8

C. 神が存在するからこそ、私の人生には意味がある

	1998年	2008年
1. そう思う	3.7	3.6
2. どちらかといえば、そう思う	5.1	5.3
3. どちらともいえない	17.4	17.5
4. どちらかといえば、そうは思わない	12.3	11.0
5. そうは思わない	43.9	41.5
6. わからない, 無回答	17.6	21.1

D. 人生には何の目的もないと思う

	1998年	2008年
1. そう思う	1.5	2.2
2. どちらかといえば、そう思う	1.2	2.4
3. どちらともいえない	7.8	6.9
4. どちらかといえば、そうは思わない	16.3	12.4
5. そうは思わない	66.0	65.3
6. わからない, 無回答	7.2	10.8

E. 自分自身で意味を見つけだしてこそ、人生は意味のあるものになる

	1998年	2008年
1. そう思う	49.8	40.1
2. どちらかといえば、そう思う	29.6	33.8
3. どちらともいえない	7.7	7.5
4. どちらかといえば、そうは思わない	1.9	3.0
5. そうは思わない	3.8	4.4
6. わからない, 無回答	7.2	11.2

F. 神社や教会、礼拝などに頼らなくても、神とつながる私なりの方法がある

	2008年
1. そう思う	10.4
2. どちらかといえば、そう思う	10.2
3. どちらともいえない	15.1
4. どちらかといえば、そうは思わない	5.2
5. そうは思わない	19.8
6. わからない, 無回答	39.4

—信仰する宗教—

Q 20 あなたが子どもの頃のことについてお聞きします。次のA、Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. あなたのお母さんは、何か宗教を信仰していましたか。

	2008年
1. 仏教	42.6
2. 神道	3.1
3. プロテスタント	0.6
4. カトリック	0.6
5. ユダヤ教	0.1
6. 正教会	0.2
7. イスラム教	0.0
8. その他の宗教	1.2
9. 宗教を信仰していなかった	31.2
10. わからない, 無回答	20.6

B. あなたのお父さんは、何か宗教を信仰していましたか。

	2008年
1. 仏教	38.0
2. 神道	3.7
3. プロテスタント	0.2
4. カトリック	0.5
5. ユダヤ教	0.1

6. 正教会	0.2
7. イスラム教	0.0
8. その他の宗教	0.5
9. 宗教を信仰していなかった	32.2
10. わからない、無回答	24.8

—信仰する宗教②—

Q 21 現在のことについてお聞きます。A, Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. あなた自身は、何か宗教を信仰していますか。

	2008年
1. 仏教	34.0
2. 神道	2.7
3. プロテスタント	0.7
4. カトリック	0.2
5. ユダヤ教	0.0
6. 正教会	0.0
7. イスラム教	0.0
8. その他の宗教	1.1
9. 宗教を信仰していない	49.4
11. わからない、無回答	12.1

B. あなたの配偶者は、何か宗教を信仰していますか。

	2008年
1. 仏教	25.8
2. 神道	1.8
3. プロテスタント	0.5
4. カトリック	0.3
5. ユダヤ教	0.0
6. 正教会	0.2
7. イスラム教	0.0
8. その他の宗教	0.8
9. 宗教を信仰していない	34.0
10. 配偶者はいない	25.3
11. わからない、無回答	11.3

—礼拝参拝の回数—

Q 22 あなたが子どもの頃のことについてお聞きます。A ~Cそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. あなたが子どもの頃、お母さんは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。

	1998年	2008年
1. まったく行かない	18.5	16.3
2. 年に一回も行かない	3.8	4.7
3. 年に一、二回	26.4	28.7
4. 年に数回程度	20.2	22.3
5. 月に一回	4.8	4.7
6. 月に二、三回	2.9	2.3
7. ほとんど毎週	0.7	0.5
8. 毎週	0.4	0.9
9. 週に数回	0.7	0.7
10. お母さんはいなかった	1.6	1.3
11. わからない、覚えていない	20.0	16.8
12. 無回答	0.1	0.8

B. あなたが子どもの頃、お父さんは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。

	1998年	2008年
1. まったく行かない	19.7	18.4
2. 年に一回も行かない	4.5	5.3
3. 年に一、二回	26.0	27.5
4. 年に数回程度	17.8	19.0
5. 月に一回	3.2	4.3
6. 月に二、三回	1.8	1.3
7. ほとんど毎週	0.7	0.3
8. 毎週	0.1	0.4
9. 週に数回	0.6	0.5
10. お父さんはいなかった	3.9	2.8
11. わからない、覚えていない	21.6	19.3
12. 無回答	0.1	0.8

C. 11 ~ 12歳(小学5 ~ 6年生)頃、あなたは神社、寺、教会などの参拝や礼拝にどの程度行きましたか。

	1998年	2008年
1. まったく行かない	27.5	23.0
2. 年に一回も行かない	5.3	6.0
3. 年に一、二回	29.5	34.2
4. 年に数回程度	17.2	15.5
5. 月に一回	2.9	2.9
6. 月に二、三回	1.4	1.4
7. ほとんど毎週	0.6	0.8
8. 毎週	0.4	1.0
9. 週に数回	0.6	0.4
11. わからない、覚えていない	14.7	13.9
12. 無回答	0.1	0.9

—現在の宗教行動—

Q 23 現在のあなたのことについてうかがいます。A, Bそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. 神様や仏様を拝んだり、祈ったりすることがどのくらいありますか。

	1998年	2008年
1. したことがない	10.5	10.4
2. 一年以上していない	3.9	5.6
3. 年に一、二回	20.4	22.6
4. 年に数回程度	22.2	22.5
5. 月に一回	4.5	4.7
6. 月に二、三回	5.5	3.8
7. ほとんど毎週	1.3	1.3
8. 毎週	0.8	0.7
9. 週に数回	3.9	4.8
10. 一日に一回	17.5	18.2
11. 一日に数回	4.6	4.3
12. 無回答	4.8	1.1

B. 参拝や礼拝以外に、寺、神社、教会などの行事や活動に参加することがどのくらいありますか。

	1998年	2008年
1. したことがない	56.9	51.8
2. 一年以上していない	10.8	11.9
3. 年に一、二回	14.5	18.8
4. 年に数回程度	8.8	11.3
5. 月に一回	1.5	2.0
6. 月に二、三回	0.9	1.2
7. ほとんど毎週	0.4	0.3
8. 毎週	0.4	0.1

9. 週に数回	0.5	0.7
10. 一日に一回	0.0	0.0
11. 一日に数回	0.0	0.0
12. 無回答	5.3	2.0

—自宅に神具・仏具あるか—

Q 24 あなたは、宗教的な理由から、仏壇や神棚、十字架やキリストの像などを家に置いていますか。

	2008年
1. 置いている	51.1
2. 置いていない	48.2
3. 無回答	0.8

—巡礼の回数—

Q 25 あなたは、日常的な参拝や礼拝とは別に、宗教的な目的で、巡礼に行ったり、お寺や教会などを訪れたりすることがどのくらいありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	2008年
1. したことがない	64.9
2. 一年以上していない	10.8
3. 年に一、二回	13.6
4. 年に数回程度	7.2
5. 月に一回	3.2
6. 無回答	0.3

—信仰心の自覚—

Q 26 あなた自身には信仰心や信心がありますか。それともありませんか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. とてもある	3.9	2.8
2. かなりある	5.3	5.3
3. まあある	21.8	24.8
4. どちらともいえない	15.1	17.1
5. あまりない	19.0	14.8
6. ほとんどない	16.6	14.3
7. まったくない	15.1	16.3
8. わからない	3.3	4.6
9. 無回答	0.0	0.3

—信仰とスピリチュアル—

Q 27 次の文章のうち、あなたご自身に、最もあてはまるのはどれでしょうか。最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

	2008年
1. 宗教を信仰し、聖なるものや霊的なものに 関心がある	8.8
2. 宗教を信仰するが、聖なるものや霊的なものには 関心はない	16.0
3. 宗教を信仰しないが、聖なるものや霊的な ものには関心がある	26.0
4. 宗教は信仰しないし、聖なるものや霊的な ものにも関心はない	26.3
5. わからない、無回答	23.0

—宗教観—

Q 28 あなたは、宗教についてどう思いますか。あなたのお考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. どの宗教も真実などない	14.1	13.7
2. どの宗教にも真実はある	26.0	25.0
3. 真実は、1つの宗教にだけある	4.6	3.7
4. わからない、無回答	55.3	57.7

—宗教の役割—

Q 29 あなたは、次のA～Dのようなことに関して、宗教は役立つと思いますか。それとも、そう思いませんか。A～Dそれぞれについて、あなたのお考えに最も近い番号に1つだけ○をつけてください。

A. 心の安らぎや幸福感が得られる

	2008年
1. そう思う	17.3
2. どちらかといえば、そう思う	32.8
3. どちらともいえない	16.5
4. どちらかといえば、そうは思わない	4.0
5. そうは思わない	10.7
6. わからない、無回答	18.8

B. 友人をつくる

	2008年
1. そう思う	6.8
2. どちらかといえば、そう思う	16.3
3. どちらともいえない	22.2
4. どちらかといえば、そうは思わない	8.6
5. そうは思わない	24.3
6. わからない、無回答	21.8

C. 困難や悲しみを癒す

	2008年
1. そう思う	12.7
2. どちらかといえば、そう思う	32.2
3. どちらともいえない	18.4
4. どちらかといえば、そうは思わない	5.0
5. そうは思わない	12.3
6. わからない、無回答	19.4

D. 良識を持った人と知り合う

	2008年
1. そう思う	5.2
2. どちらかといえば、そう思う	10.6
3. どちらともいえない	27.4
4. どちらかといえば、そうは思わない	7.6
5. そうは思わない	24.3
6. わからない、無回答	24.9

—神棚を拝むか—

Q 30 あなたは、神棚に向かって拝むことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 毎日拝む	12.4	11.3
2. ときどき拝む	13.6	13.8
3. 拝むこともある	25.6	24.8
4. まったく拝まない	12.1	10.3
5. 神棚はない	36.2	39.7
6. 無回答	0.1	0.1

—仏壇を拝むか—

Q 31 では、仏壇に向かって拝むことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 毎日拝む	23.5	23.0
2. ときどき拝む	20.4	22.8
3. 拝むこともある	21.7	21.4
4. まったく拝まない	5.3	5.0
5. 仏壇はない	28.9	27.6
6. 無回答	0.1	0.3

—宗教的感覚—

Q 32 次のAからEの考え方について、どう思いますか。A～Eそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. 神や仏に願いごとをすると、何となくかなえてくれそうな気がする

	1998年	2008年
1. そう思う	39.4	36.9
2. そうは思わない	27.0	27.6
3. どちらともいえない	33.3	34.2
4. 無回答	0.3	1.3

B. 神でも仏でも、心のよりどころになるものが欲しい

	1998年	2008年
1. そう思う	36.0	30.7
2. そうは思わない	29.5	32.5
3. どちらともいえない	34.2	35.5
4. 無回答	0.2	1.3

C. 人には知られなくても、悪いことをすれば、いつか必ずむくいがあるものだ

	1998年	2008年
1. そう思う	73.2	66.4
2. そうは思わない	8.1	9.3
3. どちらともいえない	18.4	23.3
4. 無回答	0.3	1.1

D. 人間には、自分の力ではどうすることもできない運命というものがある

	1998年	2008年
1. そう思う	62.5	56.7
2. そうは思わない	15.6	16.8
3. どちらともいえない	21.6	25.5
4. 無回答	0.4	1.1

E. 祖先の人達とは、深い心のつながりを感じる

	1998年	2008年
1. そう思う	38.6	34.8
2. そうは思わない	25.5	23.3
3. どちらともいえない	35.7	40.5
4. 無回答	0.2	1.3

—精神修養—

Q 33 あなたは、座禅などのような、宗教的なものを通じて、心の落ちつきを得たいと思ったり、自分自身の成長や人生について考えてみたいと思ったことがありますか。

	1998年	2008年
1. ある	34.6	35.0
2. ない	65.4	64.8
3. 無回答	0.0	0.3

—汎神論的感覚—

Q 34 昔の人は、山や川、井戸や「かまど」にいたるまで、多くのものに神の存在を感じたり、神をまつたりしてきましたが、あなたは、こうした気持ちが理解できますか。それとも、理解できませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 理解できる	24.7	25.9
2. どちらかといえば、理解できる	52.8	52.9
3. どちらかといえば、理解できない	15.6	14.0
4. 理解できない	6.8	6.9
5. 無回答	0.1	0.3

—神仏に祈った経験—

Q 35 あなたは、何か非常に困った問題にぶつかって、神や仏に祈ったことがありますか。

	1998年	2008年
1. ある	64.3	62.9
2. ない	35.6	36.7
3. 無回答	0.1	0.4

—親しみを感じる宗教—

Q 36 今の日本にはさまざまな宗教がありますが、あなたが信仰している宗教も含めて、親しみを感じる宗教はどれですか。あてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

	1998年	2008年
1. 仏教	48.5	65.3
2. 神道	14.5	20.5
3. キリスト教	11.6	12.5
4. イスラム教	0.3	0.4
5. その他の宗教	1.2	1.3
6. 親しみを感じる宗教はない	40.4	28.6
7. 無回答	0.3	0.8

—日常の宗教的行動—

Q 37 あなたは、次のAからIのようなことをすることがあります。A～Iそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

A. 初もうでに行く

	1998年	2008年
1. よくする	56.0	54.9
2. したことがある	37.4	36.7
3. しない	6.5	7.0
4. 無回答	0.1	1.4

B. お盆やお彼岸に墓参りをする

	1998年	2008年
1. よくする	66.7	65.8
2. したことがある	27.3	28.4
3. しない	5.8	4.5
4. 無回答	0.1	1.3

C. 教会の礼拝に行く

	1998年	2008年
1. よくする	2.0	1.4
2. したことがある	11.0	8.0
3. しない	86.7	87.9
4. 無回答	0.3	2.7

D. 神社で参拝をする

	1998年	2008年
1. よくする	22.4	26.2
2. したことがある	54.9	53.7
3. しない	22.5	17.9
4. 無回答	0.1	2.3

E. 宗教の集まりに参加する

	1998年	2008年
1. よくする	5.9	4.5
2. したことがある	14.2	11.3
3. しない	79.6	81.7
4. 無回答	0.3	2.6

F. 聖書や経典を読む

	1998年	2008年
1. よくする	3.7	5.9
2. したことがある	19.4	20.5
3. しない	76.8	70.9
4. 無回答	0.2	2.7

G. お守りやおふだをもらう

	1998年	2008年
1. よくする	25.0	25.8
2. したことがある	55.7	54.3
3. しない	19.2	18.3
4. 無回答	0.1	1.6

H. おみくじをひく

	1998年	2008年
1. よくする	18.8	21.5
2. したことがある	56.8	54.8
3. しない	24.3	22.0
4. 無回答	0.1	1.7

I. 占いをしてもらう

	1998年	2008年
1. よくする	4.2	4.1
2. したことがある	31.1	29.5
3. しない	64.5	64.6
4. 無回答	0.1	1.8

2008年サンプル構成

全体	性		年代						
	男性	女性	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,200人	552	648	51	136	192	179	222	213	207
100.0%	46.0	54.0	4.3	11.3	16.0	14.9	18.5	17.8	17.3

全体	男の年代							女の年代						
	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,200人	27	67	89	83	102	101	83	24	69	103	96	120	112	124
100.0%	2.3	5.6	7.4	6.9	8.5	8.4	6.9	2.0	5.8	8.6	8.0	10.0	9.3	10.3

全体	職業					
	農林漁業	自営業	勤め人	主婦	無職	学生・その他・無回答
1,200人	38	78	506	243	195	140
100.0%	3.2	6.5	42.2	20.3	16.3	11.7

全体	都市規模					地域ブロック				
	特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村	北海道・東北	関東甲信越	東海・北陸	近畿	中国・四国・九州・沖縄
1,200人	216	281	275	215	213	148	404	186	196	266
100.0%	18.0	23.4	22.9	17.9	17.8	12.3	33.7	15.5	16.3	22.2

1998年サンプル構成

全体	性		年代						
	男性	女性	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,368人	683	685	72	195	206	281	260	196	158
100.0%	49.9	50.1	5.3	14.3	15.1	20.5	19.0	14.3	11.5

全体	男の年代							女の年代						
	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16～19	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,368人	43	88	103	137	143	98	71	29	107	103	144	117	98	87
100.0%	3.1	6.4	7.5	10.0	10.5	7.2	5.2	2.1	7.8	7.5	10.5	8.6	7.2	6.4

全体	職業					
	農林漁業	自営業	勤め人	主婦	無職	学生・その他・無回答
1,368人	32	161	537	166	312	160
100.0%	2.3	11.8	39.3	12.1	22.8	11.7

全体	都市規模					地域ブロック				
	特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村	北海道・東北	関東甲信越	東海・北陸	近畿	中国・四国・九州・沖縄
1,368人	253	219	325	267	304	178	474	194	226	296
100.0%	18.5	16.0	23.8	19.5	22.2	13.0	34.6	14.2	16.5	21.6